

公明党再要望項目一覧

平成25年度11月補正分

要望項目	左に対する対応方針等
<p>県知事公舎に太陽光発電装置を設置または屋根貸しをする会派要望については、「知事公舎は不向きである」との回答だったが、多少発電効率が悪くても「知事公舎も太陽光発電装置を設置している」こと自体がPRであり、大きな効果があると考え。また具体的な発電の費用対効果について試算を明らかにし、設置について前向きに検討されたい。</p>	<p>知事公舎へ太陽光発電装置を設置することについては、可能な場所や発電量、費用などの調査を行うこととする。</p>
<p>全都道府県には鳥取県出身者なり関係者が必ず在住されていると考えられる。全国的な著名人でなくても、鳥取を愛する方でそれら地域で活躍されている方をふるさと大使に委嘱されたい。そうした方の気持ちを活かして、鳥取の存在・魅力を発信されるよう、全都道府県に少なくとも複数名委嘱されたい。</p>	<p>ふるさと大使には、県外で活躍する本県ゆかりの方で特に情報発信力のある方を中心に委嘱しており、鳥取県総合情報誌『とっとりNOW』（季刊発行）を年4回送付している。</p> <p>確かに著名人ではなくても全国には鳥取を愛する方でそれぞれの地域で活躍されている方もいらっしゃると思うが、委嘱式はメディアにオープンにすることから個々の取組についてある程度の実績・知名度が求められる。また、単に数を増やすことは委嘱の基準を下げてしまう懸念もあり、あまり有効とは考えていない。</p> <p>なお、鳥取県を愛し応援してくれる方ならどなたでも入会が可能で現在県外に約2,200人（宮崎・山形県以外の全都道府県）もの会員数を誇る「ふるさと鳥取ファンクラブ」があり、会員には『とっとりNOW』を年4回送付しているほか、年数回、都市圏で会員限定によるイベント交流会を開催して親睦を図っているところである。</p> <p>ふるさと鳥取ファンクラブ会員には、鳥取の魅力を印刷したPRカードのような広報グッズをお持ちいただき鳥取県のPRに努めていただけるような取組を検討したい。</p>